

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔高齢者住宅改修給付事業〕																																																																						
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4																																																													
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☒ 廃止したもの																																																																						
担当部署・課長名		高齢介護			課			高齢福祉			係	課長名	伊野宮 崇																																																											
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 2																																																														
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書(ページ)		伊野宮 崇																																																														
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																																			
	①住宅改修予防給付：65歳以上で、介護保険法に規定する非該当と認められ、運動機能の低下があると市長が認めた者 ②住宅設備改修給付：65歳以上(ただし、特に必要と認めた者についてはこの限りでない)で、介護保険法に規定する要支援または要介護と認定された者				申請者数																																																																			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																																			
	在宅の高齢者の住宅内における転倒予防、動作の容易性の確保、行動範囲の拡大の確保、介護者の介護の軽減等を図り、高齢者の在宅での生活の質を向上させる。				給付者数																																																																			
指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																																			
	市民から給付希望があった場合、担当区域の高齢者ほっと支援センターが自宅訪問し、調査。同センターによる申請代行を受けて、市が給付決定する。決定後、利用者負担額(給付額の1割もしくは2割)が市に納付された後、市は住宅改修業者に工事依頼する。業者から工事完了届が提出されたら、市と高齢者ほっと支援センターの相談員が対象者宅を訪問し、給付工事完了確認を行う。				給付者数																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度実績</th> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度目標</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>件</td> <td>①予防給付3 ②設備改修6</td> <td>①予防給付3 ②設備改修8</td> <td>①予防給付1 ②設備改修7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目 標</td> <td>②の目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)</td> </tr> <tr> <td colspan="8">在宅高齢者の日常生活を支援し、介護者の負担軽減を図るため、前年度実績を目標に設定した。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>件</td> <td>①予防給付 1 ②設備改修 9</td> <td>①予防給付3 ②設備改修6</td> <td>①予防給付3 ②設備改修8</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	対象指標	①の数値	人	9	11	8			成果指標	②の数値	件	①予防給付3 ②設備改修6	①予防給付3 ②設備改修8	①予防給付1 ②設備改修7			目 標	②の目標値							目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)								在宅高齢者の日常生活を支援し、介護者の負担軽減を図るため、前年度実績を目標に設定した。								活動指標	③の数値	件	①予防給付 1 ②設備改修 9	①予防給付3 ②設備改修6	①予防給付3 ②設備改修8										
		単位	過去2年間の実績				当該年度	成果目標																																																																
平成30年度実績			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標																																																																		
対象指標	①の数値	人	9	11	8																																																																			
成果指標	②の数値	件	①予防給付3 ②設備改修6	①予防給付3 ②設備改修8	①予防給付1 ②設備改修7																																																																			
目 標	②の目標値																																																																							
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)																																																																								
在宅高齢者の日常生活を支援し、介護者の負担軽減を図るため、前年度実績を目標に設定した。																																																																								
活動指標	③の数値	件	①予防給付 1 ②設備改修 9	①予防給付3 ②設備改修6	①予防給付3 ②設備改修8																																																																			
3 経費	事業費(実績)		円	2,321,501	2,749,579	2,335,910	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																																	
	財源	一般財源	円	1,160,660	1,249,697	1,051,319																																																																		
		特定財源	円	992,000	1,251,000	1,051,000																																																																		
		(うち受益者負担)	円	168,841	248,882	233,591																																																																		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.10	0.10	0.10																																																																		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0																																																																		
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000																																																																		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0																																																																			
事業費+人件費		円	3,145,901	3,580,579	3,173,910																																																																			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く																																																																							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く																																																																							